

山形県広報誌

# 県民の あゆみ

特集(p.4)

誰もがいきいきと働き、暮らせる山形を目指して

奏であう人(p.8)

地の素材を採り、活かす

やまがた伝説(p.16)

日本一の大鍋「三代目鍋太郎」

2019

# 9

No.611

令和元年9月号



地域交通を支える女性タクシードライバーの皆さん。介護・福祉タクシー事業では、高齢者の通院や障がい者の買い物などで、明るく親切なサービスが喜ばれています。県内では、働きやすい職場が増え、さまざまな分野で女性が活躍しています。  
(撮影協力:酒田第一タクシー(株))

4 望まない受動喫煙をなくすために

県の行政機関における敷地内完全禁煙スタート(7月1日 山形市ほか)

この日、受動喫煙対策強化を目的に改正された健康増進法の一部が施行され、学校や病院等とともに行政機関が原則敷地内禁煙となりました。屋外喫煙所を設置する自治体もある中、山形県はさらに踏み込んで、県庁・出先機関計69施設で、屋外喫煙所を設置しない敷地内完全禁煙としました。県庁では同日朝、職員が喫煙所の灰皿を撤去し、扉を施錠しました。県が率先して取り組むことで、受動喫煙のない社会を目指していきます。



5 地域の若い声を県政へ

知事と若者の地域創生ミーティング(7月5日 最上町)

若者の豊かな発想を地域づくりに生かすため、知事と地域の若者が対話する地域創生ミーティングを「みつぎわ未来創造館らいず」で行いました。町内の農家や会社員など30歳から44歳までの男女10名が参加し、日ごろ感じている地域の課題、ワーク・ライフ・バランス、地域創生につながるさまざまなアイデアについて語り合いました。吉村知事からは「話し合うことは自身の成長と町の発展にもつながる。多くのつながりを持ってほしい。」との発言がありました。



1 山形のさらなる発展に向けて

在京有識者との県政懇談会(6月11日 東京都千代田区)

県政運営の方向性の検討に生かすため、本県にゆかりのある首都圏在住の有識者の方々と吉村知事が意見交換を行いました。初めに、都道府県幸福度ランキングに関する講演が行われ、本県が北海道・東北地域から初めて10位に入ったこと、飛躍的に順位が伸び、最も成果が上がっている県と評価できること、その要因や今後の課題等が説明されました。その後、出席者から、山形の強みや弱点を踏まえた今後の県づくりについて、広く意見をいただきました。



2 一刻も早く平穏な生活を取り戻すために

本県沖を震源とする地震の被災地視察(6月21日、23日、7月1日 鶴岡市・酒田市・遊佐町)

6月18日夜に発生した本県沖を震源とする地震は、県内観測史上最大の震度6弱を記録し、庄内地域を中心に多くの被害が生じました。吉村知事は、住宅被害が多かった鶴岡市小岩川地区やあつみ温泉等を訪れ、被災された方々から直接話をお聞きしました。県では、現地の要望やニーズを踏まえ、被災施設の復旧や住宅の瓦屋根の修繕支援等に取り組みました。引き続き、被災市町や関係機関と連携し、被災者の生活が一刻も早く元に戻るよう取り組んでいきます。



にっこり

知事室!



豊穣の秋『おいしい山形』周遊のススメ!!

山形の秋の風物詩といえば、芋煮会。芋煮は、地域によって具材等が異なりますが、私は内陸育ちなので、里芋、牛肉、コンニャク、ネギを醤油で味付け。子どもの頃から食べているのに全然飽きません。熱々の芋煮をほおぼる時の至福感!「山形に生まれて良かった」とつくづく思います(笑)。まもなく、稲穂が黄金色に色付く、収穫の季節。今年10年目を迎えるトップブランド米「つや姫」と、その弟君「雪若丸」も元気に育っています。秋の味覚のフルーツもたわわに実ります。

この4月には、東根市から南側が首都圏と高速道路で結ばれ、南東北3県に環状ネットワークも形成されたことから、本県の誇る農産物の物流スピードが格段にアップ。もちろん、県内周遊の利便性も向上しています。

山形には、国内外に誇れる美しい景観が数多くあります。皆さんも各地のイベントや個性豊かな産直施設、道の駅などに立ち寄り、文化や旬の食に触れながら、県内のビューポイントを巡ってみてはいかがでしょうか。



山形県知事 吉村 善子

3 さくらんぼで山形の魅力をPR!

第8回日本一さくらんぼ祭り(6月22日、23日 山形市)

山形の6月の恒例イベントとして定着した「日本一さくらんぼ祭り」が今年も開催されました。オープニングセレモニーは、本県の姉妹県州のパプア州があるインドネシア共和国の駐日大使夫妻にご臨席いただき、華々しく開幕。夕方からは、今回初の試みとして第2部「トワイライトフェス」が行われ、山形的美食・美酒を味わいながら、ジャズの演奏や花笠踊り等を多くの方に楽しんでいただきました。来場者は2日間で延べ27万3千人となり、過去最高のにぎわいとなりました。



# 誰もがいきいきと働き、暮らせる山形を目指して ～女性の活躍とワーク・ライフ・バランスの推進～

特集



ワーク・ライフ・バランス、ウーマノミクスという言葉をご存知ですか？  
県では、誰もが家庭生活と仕事を両立しながら、自らの能力を発揮できる  
全員参加型社会の実現を官民一体となって進めています。  
その背景、取り組み内容についてご紹介します。

◎女性技術職も数多く活躍中の東北電化工業株式会社(山形市)

## 現状 男女がともに働く山形県

本県では女性の約8割が就労しており、男性とともに地域産業・経済をけん引しています。

今後、少子高齢化が進展する中で、企業や組織が競争力を高めるには、優秀な人材の確保、消費者ニーズを捉えた商品・サービスの提供、生産性の向上などが重要になります。これらを進めるためにも、性別や年齢などにかかわらず多様な人材が能力を十分に発揮できる環境が求められています。

## 課題 経営に女性の視点を

女性管理職の登用は、多様な視点や発想が経営に生かされ、企業にとって好影響が期待されます。

しかし、本県では女性の社会進出は進んでいるものの、管理職の割合は低く、女性の能力が十分に発揮されていないとは言えない状況です。その要因として、女性は家事や育児・介護の負担が大きく、長時間労働を前提とした男性中心型の労働慣行のもとでは、家庭と仕事の両立が困難なことが挙げられます。

女性をはじめ誰もが活躍できる社

# さらなる女性の活躍とワーク・ライフ・バランスを進めるために

## (1) 頑張る企業を支援！

県では「女性の活躍推進」や「家庭と仕事の両立支援」に取り組み企業を認定し、各種奨励金などにより応援する制度を設けています。本年7月末時点の登録・認定企業は83社と、意欲的な企業が年々増えています。今年度は新たに3名のマッチングコーディネーターを配置し、企業の取組みがさらに進むよう後押ししています。

## (2) 企業トップ自らが旗振り！

ワーク・ライフ・バランスを進めるには、企業トップの意識が重要です。「イクボス」とは、部下や自身のワーク・ライフ・バランスも大切にしつつ、組織の業績・結果も出す上司のことです。県や経済団体等が設立した「やまがたイクボス同盟」には、本年7月末時点で382組織が加盟しています。多くの企業・団体等の参加をお待ちしています。

## (3) 再び働きたい女性を応援！

結婚、出産などで離職した女性が、再び社会で活躍できるように、県では働きたい女性を応援する「マザーズジョブサポート」を山形と庄内に設置しています。相談窓口のほか、就労に役立つ各種セミナーや講座も開催しています。キッズルームや保育サービスもありますので、お気軽にご相談ください。

## (4) 普及啓発事業の実施

企業内の女性活躍を進め、産業界の発展と地域活性化を図る普及啓発事業を行っています。今年度は企業経営者等を対象に「ウーマノミクス」で経済活性化塾を開催します。

## 活力あふれる山形の創生へ

女性が働きやすい職場づくりは、誰もが働きやすい職場環境への第一歩。できることから「働きやすい」も「働きがい」もある職場づくりに取り組みしましょう。

## やまがた子育て・介護応援いきいき企業制度

取組みの段階に応じて【実践(ゴールド)企業】又は【優秀(ダイヤモンド)企業】に認定します。

### ～主な支援内容～

- ◆奨励金の交付  
例) 女性管理職への登用10万円  
男性の育児休業取得 20万円
- ◆各種支援資金・融資における優遇金利の適用
- ◆県競争入札参加資格者名簿(建設工事)評価点の加点等  
このほか、独自支援メニューがある市町村もあります。

マッチングコーディネーターが  
お伺いします！



企業を訪問し、制度の説明や認定手続きのサポートなど、職場環境の改善を支援するとともに、女性の雇用を拡大します。

やまがた いきいき

## やまがたイクボス同盟に加盟しませんか？

### ～主な活動～

- 1 イクボストップセミナー  
今年度は11月11日(月)開催！  
講師はプロ経営者 松本晃 氏
- 2 担当者向け情報交換会  
他社の優良取組事例の発表や  
ワークショップで課題・悩みを共有
- 3 やまがたイクボス同盟統一行動  
今回は冬の一斉定時帰りを実施予定



やまがた イクボス

7月の統一行動では県内企業・団体  
約90組織・1万7千人が参加！

### message

## イクボス同盟加盟企業からのメッセージ



『人は財産＝人財』を掲げ、週2回のノー残業デーや独自の休暇制度など、誰もが働きやすい環境を整備し、社員の意欲向上や人材確保につなげています。

## マザーズジョブサポート 山形

〒990-0828 山形市双葉町1-2-3  
山形テルサ1F ハローワークプラザやまがた内  
023-665-5915



## マザーズジョブサポート 庄内

〒998-0044 酒田市中町1-4-10  
酒田市役所 中町庁舎2F ジョブプラザさかた内  
0234-28-8061



## ぜひご覧ください！

### 県政テレビ番組 いぎいきやまがた 放送のご案内

「女性も働きやすい職場づくりで山形を活性化！」と題して県内民放4局で特別番組(30分)を放送します。

### さくらんぼテレビ(SAY)

●9月7日(土)午後4時～

### 山形テレビ(YTS)

●9月14日(土)午後0時30分～

### 山形放送(YBC)

●9月21日(土)午後3時30分～

### テレビユー山形(TUY)

●9月28日(土)午後4時30分～

※放送時間は変更になる場合があります。

▶問い合わせ ◎ 若者活躍・男女共同参画課 ☎023-630-2262

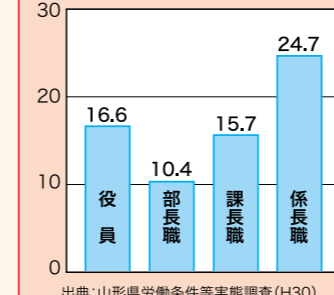
## 本県女性の社会進出は全国トップクラス

	正規職員・従業員に占める女性の割合	子育てながら働く女性の割合	夫婦の共働き率 <small>※就業者のいる夫婦世帯における割合</small>
1位	徳島県 53.3%	鳥根県 81.2%	山形県 71.2%
2位	山形県 53.0%	福井県 80.6%	福井県 70.5%
3位	富山県 51.5%	高知県 80.5%	鳥根県 70.2%
4位	高知県 51.5%	山形県 79.0%	富山県 69.1%
全国平均	43.4%	64.2%	57.6%

出典:総務省「就業構造基本調査」(H29) 出典:総務省「国勢調査」(H27)

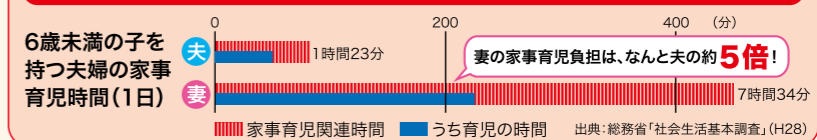
## 管理職への女性登用が課題

本県の企業の管理職に占める女性の割合(%)



出典:山形県労働条件等実態調査(H30)  
県男女共同参画計画 R2目標値:21%(課長職以上)

## 家庭と仕事の両立が困難



※1 仕事と生活の調和

# 交流圏、交流人口の拡大による地域活性化に向けて ～本県航空ネットワークの充実・強化に取り組んでいます～

山形空港と庄内空港は、本県と国内外との交流を支える拠点として大きな役割を担っています。多くの方にビジネスや観光でご利用いただくことで、地域の産業・経済・文化の発展につながります。

これまでの県の取組み	その成果
<b>①空港利用の促進</b> ・空港に発着する乗合タクシーへの支援 ・旅行商品づくりへの支援 ・運賃の助成等	<b>山形空港</b> 174千人/H21年度 → 325千人/H30年度 <b>庄内空港</b> 340千人/H21年度 → 392千人/H30年度 定期便の搭乗者数が増加！
<b>②利用しやすい航空便の実現</b> ・航空会社等への新規路線就航の働きかけ ・国内定期就航路線の増便、機材大型化、ダイヤ改正 運賃割引拡大の働きかけ等	<b>山形空港</b> ・羽田便の2便化や機材大型化 ・名古屋便や札幌便の就航 <b>庄内空港</b> ・羽田便の機材大型化・成田便の就航 定期便の利便性が向上！

## 8月1日 山形県初LCC※ 庄内＝成田線 就航!!

新たに庄内空港に就航したのはLCC国内線シェアNo.1のジェットスター・ジャパン(株)。県内初となるLCCと成田便についてご紹介します。 ※ローコストキャリアの略、効率的な運営により低価格な運賃を提供している航空会社の略称。

### ①運賃が安い!

格安に設定された運賃に、利用者が受けたサービスオプションで選択し、追加料金を支払う価格体系なので、自分の状況に応じて、料金を安価に抑えることができます。

通常期運賃 **4,490円～**

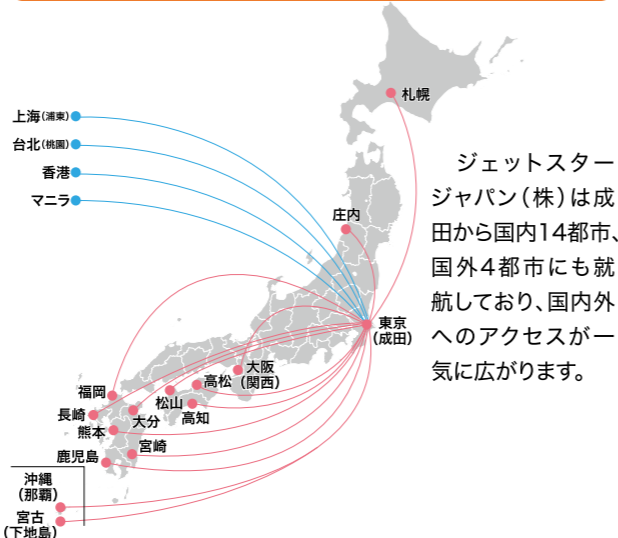
ほかに、支払方法やオプションにより手数料や料金ががかかります。  
 (例)支払手数料600円(クレジットカードの場合)  
 成田空港の旅客サービス施設使用料380円

#### サービス及びオプション料金(例)

- 座席指定**  
スタンダード(窓や通路側、同行者と隣の席等)490円～
- 手荷物の機内持込み**  
7kgまでは無料、+3kgは予約時880円～、当日申込3,000円
- 手荷物のお預けサービス**  
～15kg:1,100円 以下、5kgごとで40kgまで設定あり

表示運賃はエコノミークラス「Starter」の片道運賃。諸条件が適用されます。そのほか、掲載情報は2019年7月1日現在のものです。

### ②国内・世界への格安ネットワーク!



#### 予約方法

- ジェットスターのウェブサイト
- スマホアプリ
- コンビニのマルチメディア端末  
取扱店:ローソン、ミニストップ、ファミリーマート
- コンタクトセンター ☎0570-550-538  
別途、予約内容に応じた手数料がかかります。

※いずれも今年10月26日までのダイヤです。天候等の事情によりダイヤは変更される場合があります。

#### ☆☆おいしい庄内空港

羽田便(ANA)	成田便(JJP)
庄内発 羽田着 07:10 08:15 庄内発 羽田着 08:35 09:40 庄内発 羽田着 12:50 13:55 庄内発 羽田着 17:50 18:55	成田発 庄内着 06:55 07:55 成田発 庄内着 11:10 12:10 成田発 庄内着 15:55 16:55 成田発 庄内着 20:15 21:15

#### ☆☆おいしい山形空港

羽田便(JAL)	伊丹便(JAL)	名古屋(小牧)便(FDA/JAL)	札幌(新千歳)便(FDA/JAL)
山形発 羽田着 08:50 09:55 山形発 羽田着 19:20 20:25	伊丹発 山形着 08:00 09:15 伊丹発 山形着 11:50 13:05 伊丹発 山形着 16:20 17:35	山形発 名古屋着 11:15 12:25 山形発 名古屋着 16:40 17:50	札幌(新千歳)発 山形着 12:45 14:00 札幌(新千歳)発 山形着 14:55 16:10

▶お問い合わせ ◎航空行政全般及び山形空港に関すること 総合交通政策課 ☎023-630-3081  
◎庄内空港に関すること 庄内総合支庁総務課連携支援室 ☎0235-66-5440

おいしい 空港

## 9月は「山形県防災月間」です。

キーワードは

# 「自らの命は自らが守る」

今年6月18日に発生した本県沖を震源とする地震は、県内では最大震度6弱を記録し、庄内地域を中心にさまざまな被害をもたらしました。また、西日本を中心とした平成30年7月豪雨では、死者237名、行方不明者8名が出るなど甚大な被害が発生しました。近年、これまでに経験したことのない自然災害が全国で頻発しています。

災害時に最善の行動をとらなければ、生命を失うことになりかねません。一人ひとりが「自らの命は自らが守る」意識を持ち、次の3つのステップで防災に取り組みましょう。

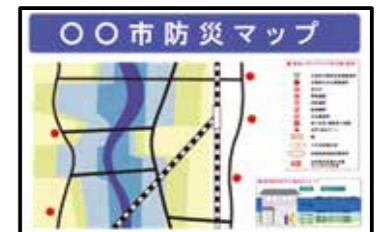
写真出典:広報誌「ぼうさい」平成31年春号(内閣府)

## ステップ① まずは「知る」

### ■身の回りに起こりうる災害のリスクなどを知る。

- 起こりうる災害の種類や大きさや対処法をあらかじめ知ることが、いざという時に自分を守ります。
- お住まいの地域の防災マップ(図1)やハザードマップ(被害予測地図)等で、地域の危険箇所や危険度を知り、避難場所や避難路を事前に把握しておきましょう。
- 日頃から、天気予報や台風などの情報をチェックする習慣を身につけましょう。

地域の危険度を教えてくれる  
(図1)防災マップ



## ステップ② 次に「備える」

### ■災害発生時に備え、普段から準備する。

- 懐中電灯、携帯ラジオ、医薬品、現金などの非常持出品(図2)をそろえ、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。
- 二次的な被害を防ぐため、家具や本棚などの転倒防止、窓ガラスの飛散防止の対策にも取り組みましょう。
- 食料や日用品は普段の買い物で多めに買い、日々の生活で古いものから順に使い、消費した分を買い足すことで、常に備蓄分を確保しておきましょう(ローリングストック)。自動車は、日頃から早めの給油を心がけることも有効です。
- 災害時に命を守る最善の行動がとれるように、地域の防災訓練などの活動にも積極的に参加し、有事に備えましょう。

いざという時に備えておきたい  
(図2)非常持出品



地震から身を守る行動  
(図3)「シェイクアウト」



## ステップ③ 有事には「速やかに行動」

### ■地震が起きたら、まず自分の身を守る行動を!

- 室内では、机などにもぐり落下物から身を守りましょう(図3)。屋外では「カバンで頭を守る」、「ブロック塀から離れる」などのできる限りの対策を取ります。
- 揺れが収まったら、余震に注意しながら、速やかに避難してください。

### ■風水害が予測されるときには・・・

- 6月から洪水・土砂災害時の防災情報の伝え方が変わりました(図4)。
- 高齢者など避難に時間を要する方は警戒レベル3で避難開始。警戒レベル4は全員避難です。お住まいの自治体が発令した警戒レベルに従い、速やかに最善の避難行動を取りましょう。

新しくなった  
(図4)洪水・土砂災害警戒レベル

レベル1	最新情報に注意
レベル2	避難方法を確認
レベル3	高齢者など避難
レベル4	全員避難!
レベル5	災害発生 命を守る最善の行動

## 次のステップは「地域の安全は地域みんなで守る!」

町内会等に組織された「自主防災組織」などの活動にも積極的に参加しましょう。災害発生時にお互いに助け合う「共助」の精神が地域防災力の向上につながります。

▶お問い合わせ ◎ 防災危機管理課 ☎023-630-2671



撮影場所◎旧次年子小学校の隣「アトリエ兼カフェUmui」(大石田町)

# 奏であう人

かな

vol.51

おおば りゅうたろう  
大場隆太郎 さん(山形市)

うむい えみこ  
Umui Emiko さん(大石田町)

◎山形市出身、在住。職業川漁師。高校3年生から川魚の販売を始める。イワナ、ヤマメ、アユを対象に、溪流釣り解禁から禁漁までの期間、毎年全日釣果を10年間続け、2009年には年間10,256匹の釣果を上げる。釣りあげた魚は、首都圏を中心にさまざまなジャンルの料理店に出荷。料理人に根強いファンが多い。

◎群馬県出身、大石田町次年子在住。東京にてイタリアンや和食の店などで経験を積み、2011年、都内にカフェ「Umui」をオープン。2014年、家族で新庄市へ。2018年、廃校(旧次年子小学校)を利用した陶芸家の工房2階にて、アトリエ兼カフェとして再開する。Umuiは、沖縄の言葉で「想い」という意味。

keyword

## 地の素材を採り、活かす

山形の川を知り尽くした川漁師、旬の食材にこだわる料理人。  
山形の自然と向き合いながら、  
その恵みを届け、活かすお二人に、話をお聞きしました。

41センチもの大物イワナを釣り上げる大場さん。プロの川漁師として「日本一の釣果」を自らに課し、漁解禁期間中は睡眠以外の時間のほとんどを釣りに費やす。小さい沢も含め県内300か所以上の川を熟知し、毎年4,000匹以上の魚を釣り上げる。



老若男女を対象にした「味覚の授業」も行っているUmuiさんは、一皿の上に、野菜が食卓に上るまでの背景や物語を表現する。器も既成品ではなく、野菜と同じく土と水から人の手で作られる陶器を使うことで、食の力が増すという。

♪ **大好きな自然や食との関わりを仕事にする**

高校3年生の学園祭で、自ら釣った川魚300匹を完売したことが、川漁師の出発点と話す大場さん。

「中学生になる前から釣りが好きで、仕事にしようと思った。大学進学も考えましたが、少しでも早くから自分の興味がある分野で経験を積みたいと思い、川漁師の道に進みました。

今では多くの料理人がリピーターになって魚を購入してくださり、新規顧客の受付ができないほどです。

一方のUmuiさんは、小さい頃から料理が好きで、両親の反対から料理人への夢を一度は諦めたものの、出産をきっかけに食への興味が再燃したと言います。作物が生まれる現場を知ろうと、農家で働いたこともあったそうです。

「その経験から、口に入れるもので体調が改善することを実感しました。これを多くの人に伝えたいと思い、カフェを開きました」。

店では、米やみそなどに、山形産

のものを使っていたため、その素材のおいしさに引かれ、つてを頼って山形に移住を決めたそうです。

♪ **山形の食の魅力は、旬の食材にある**

Umuiさんは、山形に来てからの自分の料理の変化をこう話します。「一番は、その季節の旬の食材しか使わなくなりました。そのため、提供する料理の色彩が季節ごとによりと変化します。春は鮮やかな緑、夏は紫や赤が交じり、秋は深みが増し、冬は保存食が多くなり落ち着いた色合いになります。それだけ山形は自然の食材に恵まれています」。

大場さんがこれに応えます。「釣りも旬そのものですね。春はイワナ、ヤマメ、夏はアユと、常に狙う魚や季節・天候に合わせて、経験から得た知識と技術を駆使します。それが川漁師の醍醐味でもあります」。

♪ **暮らしと自然をもっと身近に**

お二人は、山形の人にこそ、もっと山形の自然の貴重さに気づいてほ

しいと口をそろえます。「これまで誰も成し遂げたことのない釣果を目標に取り組んでいます。年間1万匹以上を釣り上げるこ

とができたのは、山形の川の素晴らしさのおかげです。日本では北海道の次、本州なら一番だと思っています。もつと多くの人に、山歩きや川に親しむなど、自然の中に分け入ってほしいと思います」と大場さん。

Umuiさんもうなずきます。「伝統野菜や、長い冬を乗り切るための乾燥、塩蔵、こうじなどの保存の文化は、山形の自然の中で生まれ、育まれてきました。山形の食は自然と直結しているんです。

魚も野菜も、自然からその命をいただくことで、私たちの身体、そして命ができていることを忘れないでほしいですね。それが、いただきます、ごちそうさまの原点ですから」。

そして、大場さんは、山形の自然環境の大切さや好きなことにチャレンジする生き方を、Umuiさんは食べる喜びを通して、自然食材の素晴らしさと料理の可能性を、それぞれ伝えていきたいと結びました。



広告



6月定例会の様子

# 第74号 県議会だより

## 6月定例会の概要

令和元年6月定例会は、6月13日から7月2日までの20日間の会期で開催され、降ひょう・強風被害及び本県沖を震源とする地震被害への対応を含む令和元年度一般会計補正予算など知事提出の28議案を可決・同意しました。また、1件の意見書を可決し、国に提出することとしました。主な質疑内容は、次のとおりです。

### 代表質問の質疑内容

**自由民主党 大内理加 議員**  
山形市選挙区 6月18日

- ◆ 新しい時代を迎えた県政運営について
- ◆ 山形連携中枢都市圏と宮城・山形連携構想の連携について
- ◆ 高速道路の整備について
- ◆ 山形県エネルギー戦略について
- ◆ 日本農業遺産と「遺産」登録の考え方について
- ◆ 国際交流と人材育成について
- ◆ 子どもを取り巻く環境について
- ◆ 歩行者優先の交通事故防止対策について

### 一般質問の主な質疑内容

**自由民主党 相田光昭 議員**  
米沢市選挙区 6月19日

- ◆ 山形県有財産総合管理（ファシリテイマネジメント）基本方針について
- ◆ 発達障がい児に対する対応について
- ◆ 県立高校の再編整備についてなど

**自由民主党 原田和広 議員**  
山形市選挙区 6月19日

- ◆ シングルマザーへの支援について
- ◆ ひきこもりの方への就労支援について
- ◆ 児童相談所における職員の専門性の確保についてなど

**自由民主党 五十嵐智洋 議員**  
長井市・西置賜郡選挙区 6月19日

- ◆ 若年女性人口の増加に向けた取組みについて
- ◆ 介護職員の育成支援について
- ◆ 特別支援学校の今後の整備の方向性についてなど

## 予算特別委員会の主な質疑内容

**自由民主党 佐藤聡 議員**  
鶴岡市選挙区 6月21日

- ◆ 庄内中高「貫校（仮称）」の設置について
- ◆ ジェットスター・ジャンボの就航についてなど

**日本共産党山形県議団 渡辺ゆり子 議員**  
山形市選挙区 6月21日

- ◆ 消費税増税について
- ◆ 国民健康保険料における子どもの均等割の軽減についてなど

**自由民主党 矢吹栄修 議員**  
天童市選挙区 6月21日

- ◆ 新スタジアム建設主体公募に対する県の考えについて
- ◆ 公立高校の受験制度と探究科の考え方についてなど

**自由民主党 志田英紀 議員**  
鶴岡市選挙区 6月25日

- ◆ 山形県沖を震源とする地震被害に対する県独自の支援策について
- ◆ 県立博物館におけるプロパー学芸員の配置の必要性についてなど

**無所属 山科朝則 議員**  
新庄市選挙区 6月24日

- ◆ ゲートウェイ型「道の駅」について
- ◆ 新庄病院における総合患者支援センター（仮称）による地域医療機関等との連携についてなど

**自由民主党 伊藤重成 議員**  
最上郡選挙区 6月24日

- ◆ 参議院議員通常選挙における投票率向上に向けた取組みについて
- ◆ 海外の山形県人会の活動状況についてなど

**県政クラブ 松田敏男 議員**  
寒河江市・西村山郡選挙区 6月25日

- ◆ 河北病院の外来診療科6科の見直しに対する県民等からの意見についてなど
- ◆ 林業労働力についてなど

### 日本海沿岸東北自動車道・東北中央自動車道の建設促進と羽越・奥羽本線等の高速化促進等を要望

6月3日、東京都内で、日本海沿岸東北自動車道及び東北中央自動車道の建設促進、羽越・奥羽本線等の高速化促進を求める3協議会の理事会を開催しました。本県議会をはじめ、青森・秋田・福島・新潟の各県議会の議長などが出席し、本県議会の金澤忠二議長が議長を務め、本年度の事業計画や要望事項などについて協議しました。その後、引き続き、各県議会が連携して、国土交通省などの関係機関を訪れ、要望活動を行いました。



国土交通省への要望活動の様子

### 山形県沖地震災害からの早期復旧・復興に関する意見書を提出

6月18日の山形県沖を震源とする地震災害の発生を受け、7月3日、早期復旧・復興に関する意見書を、山本順三防災担当大臣に提出しました。6項目にわたる意見書において、公共土木施設や漁港の復旧に必要な財政措置を講ずることや、観光需要の早期回復のための支援などを求めました。



山本防災担当大臣へ意見書を提出

### 府省との意見交換会を開催

7月3日、東京都内で、府省との意見交換会を開催しました。県議会議員15名が出席し、関係府省の職員を招いて、左記のテーマごとに3つの分科会に分かれ、国の制度等への反映や新たな施策の方向性を探るなど活発な議論を行いました。●東京圏等から地方への移住定住の促進について ●防災・減災対策及び国土強靱化関係施策の着実な推進について ●農業の競争力強化について



意見交換会の様子

### 県議会機能強化推進会議を設置

議会機能の強化に向けた課題を検討するため、7月2日に「県議会機能強化推進会議」を設置しました。同日行われた会議において、座長に森田廣議員、副座長に石黒覚議員が互選されました。

今後は、政策提言に向けた特別委員会などのあり方、議案調査期間の確保や地域議員協議会の見直しについて検討していきます。



機能強化推進会議の様子

### 県議会ギャラリーの提供

より多くの県民の皆さんに県議会に足を運んでいただくきっかけとなるよう、県議会ギャラリー（議会棟1階のロビー）に県内の児童、生徒、学生の皆さんが制作した作品を展示しています。展示作品も随時募集中です。応募の詳細については県議会ホームページをご覧ください。



山形市立商業高校「産調ガールズの活動」展示の様子

### 地域議員協議会を開催

7月25日、各総合支庁において、今年度第1回目の地域議員協議会を開催しました。各地域における行政課題や施策について、地元選出の県議会議員が審議を行いました。協議会は傍聴することができます。第2回目は11月に開催予定ですので、ぜひお近くの会場にお越しください。日時・場所等については県議会ホームページ等でお知らせします。



地域議員協議会の様子

県議会の情報は、山形県議会ホームページに満載です。ぜひご覧ください!!

- 1 定例会の概要や議会の日程
- 2 議会の生中継やこれまでの質疑の様様
- 3 可決した意見書・決議の内容
- 4 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- 5 会派ごとの議案等に対する賛否状況 など

最上

新庄・もがみフラワーフェスティバル2019

最上地域はトルコギキョウ・りんどう・ばら・ミニシクラメンなどの花きの生産が盛んで、中でもりんどうは県内シェア7割を誇る産地となっています。

その魅力を広く発信するため、地元生産者・生花商・J.A.市町村・県が一体となって、「新庄・もがみフラワーフェスティバル」を開催しています。特に、近年は若手生産者を中心となって新たな取組みに挑戦し、最上の花をアピールしています。今年の見どころは、日本を代表する華道家元である池坊の若手男子グループ「IKENO BOYS」による生け花の実演と、ワークショップです。また、品評会には最上地域の生産者が丹精込めて育てたよりすぐりの花々が150点以上出品されるほか、迫力ある生け花やアレンジメント、ボタニカルアート(植物画)、花の写真なども会場を彩ります。花の販売・寄せ植え体験などもあり、花の魅力を存分に堪能していただける2日間となっています。

秋の行楽シーズン、魅力いっぱいの上さぜひ来てくれるにゃ。

開催概要

- 日時  
9月14日(土)13時~17時  
品評会・寄せ植え体験等  
9月15日(日)9時~15時  
IKENOBOYSによる生け花実演・ワークショップ等  
※花の展示・販売は両日
- 場所  
最上広域交流センター  
「ゆめりあ」(JR新庄駅併設)
- 費用  
入場無料(一部有料)



昨年度の品評会の様子



ワークショップ(イメージ)

問い合わせ ◎ 最上総合支庁農業振興課 ☎0233-29-1316

新庄・もがみフラワーフェスティバル

名古屋

いりやあせ名古屋! 3つの航空ミュージアム!

自動車産業で有名な中部地域は、全国の航空機部品の5割以上を生産するなど航空宇宙産業の集積地としても知られています。そのため、名古屋周辺には、体感型ミュージアム「あいち航空ミュージアム」(愛知県・名古屋空港内)、航空と宇宙が同時体験できる国内唯一の専門博物館「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」(岐阜県各務原市)、大迫力のボーイング787を見学できる「FLIGHT OF DREAMS」(愛知県・中部国際空港内)と3つの航空ミュージアムがあり、飛行機愛好家憧れの地です。

その中でも、国産初のジェット旅客機「三菱スペースジェット」の開発・生産拠点近くにある「あいち航空ミュージアム」では、戦後初の国産旅客機YS-11をはじめとした実機展示のほか、日本の航空史に名を残す名機100機が25分の1スケールの精密模型で再現されています。フライトシミュレーターでYS-11を操縦できるパイロット体験も人気。滑走路までわずか300mの屋上展望デッキからの眺めもお勧めです。



名古屋空港が初飛行地のYS-11

問い合わせ ◎ 県名古屋事務所 名古屋市中区栄4-16-36久屋中日ビル4階 ☎052-265-9841



収穫シーズン到来! 山形の秋の味覚を楽しもう!

観光通信 山形日和

日本一の美食・美酒県山形では、秋の深まりとともに、県内のいたるところで豊かな食文化に出会うことができます。幕開けは、各地の河川敷などで行われる芋煮会。その上流では、産卵で川を下る、ひときわ大きな「落ち鮎」を狙い、太公望たちが腕を競います。10月は、ラ・フランスをはじめ、ぶどう、りんご、庄内柿などが楽しめる果樹の最盛期。ワインの産地では、原料となる果物の収穫に感謝するイベントが開催され、新酒を味わうこともできます。新そばが出始めるのもこの頃。県内の産地が競ってそばまつりを開き、自慢の味を披露し合います。庄内浜では、東京・豊洲市場でも高い評価を得ている「庄内おぼこサワラ」の水揚げが始まり、地元料理店ではそれぞれに工夫を凝らした料理が提供されます。ほかにも、「つや姫」「雪若丸」などの新米や、きのこ等々の魅力的な食べ物がいっぱい。爽やかな山形県の秋を味わいに出かけてみましょう。



落ち鮎の塩焼き



県産ワイン



そば



庄内おぼこサワラの炙り

問い合わせ ◎ 観光立県推進課 ☎023-630-2373

美食美酒やまがた

旬のやまがた

美食レシピ

recipe

しゃきしゃきした食感が魅力

まこもたけ

「まこも(真菰)」はイネ科マコモ属の多年草で、別名を「ハナガツミ」とも言います。東アジアや東南アジアに分布し、日本でも全国各地に生育しています。歴史は古く、最古の歌集「万葉集」にも記載が見られます。根元の茎がタケノコ状に肥大化したものが、まこもたけ(真菰筍)と呼ばれる食材になります。アスパラガスのような食感でほのかな甘みがあります。くせがなく、生でも食べられるほか、炒める、あぶるなど加熱すると甘みが増しておいしいため、



食材としての用途が広く、さまざまな料理で活躍します。河川や沼、湖などの水辺に群生するため、水田でも栽培が可能な作物です。県内では、主に東根市や庄内地域などで栽培されています。今回は、秋の行楽のお供にぴったりのレシピを紹介します。

まこもたけのまぜご飯



- 材料(4~5人分)  
まこもたけ1本、にんじん1/2本、油揚げ2枚、米3合、しょうゆ大さじ3、みりん大さじ1、酒大さじ1、白ごま適量
- 作り方  
①まこもたけは皮をむき1cm角に切る。にんじんは千切り、油揚げは細切りにする。②①をしょうゆ・みりん・酒でさっと煮る。③②を汁と具に分け、米に汁を入れ水分を合計3合まで入れて炊く。④③が炊き上がった後、②の具を混ぜ、皿に盛りつけ、白ごまをふって完成。

問い合わせ ◎ 村山総合支庁地域産業経済課 ☎023-621-8432

村山旬の市

**催し物**

**おいしい庄内空港空の日フェスタ**

- ◆日時 9月8日(日)  
午前9時30分～午前11時
  - ◆場所 庄内空港(酒田市)
  - ◆内容 航空機の展示と紹介、空港で働く車の展示、滑走路ツアーなど
- ※会場周辺は駐車できませんので、臨時駐車場(イオンモール三川)をご利用ください。臨時駐車場から無料シャトルバスを運行します。
- ☎ 庄内空港事務所 ☎0234(92)4123

**おいしい山形空港  
フェスティバル2019**

- ◆日時 9月29日(日)  
午前9時30分～午後3時30分
  - ◆場所 山形空港(東根市)
  - ◆内容 フライトシミュレーター体験、滑走路ツアー、訓練飛行・デモフライト、管制塔見学会(要事前申込)、空港ナイトツアー(27日午後8時15分～、要事前申込)など
- ※申込方法はお問い合わせください。  
 ※会場周辺は駐車できませんので、臨時駐車場(スリーエム ジャパン プロダクツ(株)山形事業所)をご利用ください。臨時駐車場から無料シャトルバスを運行します。
- ☎ 山形空港事務所 ☎0237(48)1313

**出羽三山シンフォニー**

- ◆日時 9月22日(日)  
開場午後1時/開演午後2時
  - ◆場所 出羽三山神社(羽黒山山頂)  
※雨天時会場:鶴岡市羽黒体育館
  - ◆入場料 前売券 一般3,000円、高校生以下1,500円(全席自由・当日券は各500円増)
  - ◆内容 山形交響楽団によるフルオーケストラコンサート
- ☎ 観光立県推進課 ☎023(630)2372

**日露交歓コンサート2019  
山形公演**

- ロシアの国際的演奏家を招き、世界トップクラスの演奏を鑑賞できるクラシックコンサートを開催します。
- ◆日時 9月30日(月)午後7時開演
  - ◆場所 山形テルサ(山形市)
  - ◆入場料 無料
- ※9月17日(火)までに事前申込みが必要です。申込方法は、県ホームページをご覧ください。申込み多数の場合は抽選となります。
- ☎ 県民文化スポーツ課 ☎023(630)2306

**第39回  
山形県動物愛護フェスティバル**

- ◆日時 9月28日(土)  
午前10時～午後1時
  - ◆場所 文翔館(山形市)
  - ◆内容 獣医師体験、警察犬とのふれあい・訓練の実演、ペット健康相談、マイクロチップ無料装着、ペット用家族免許証発行、譲渡対象犬猫の紹介、動物愛護ボランティアの活動紹介、小学生の動物絵画コンテストの表彰・展示、待てガマン選手権など
- ☎ 食品安全衛生課 ☎023(630)2677

**山形県農林水産祭  
林業まつり&秋の食彩まつり**

- ◆日時 10月19日(土)正午～午後4時  
10月20日(日)午前9時～午後3時
  - ◆場所 県総合運動公園第2南駐車場(天童市)
  - ◆内容 山形のおいしい食べ物や加工品の販売、木工体験教室、県産木材を使用した住宅や企業による森林づくり活動の説明展示、県産キノコや木工品の販売、丸太切り競争、つきたて餅の振る舞いなど
- ☎ 農政企画課 ☎023(630)3085

**募集**

**『真山形』写真・動画コンテスト  
やまがたの美・楽・嬉・驚を撮影!**

- 皆さんが見つけた四季折々の景観、美食・美酒、温泉、お祭りなど山形の魅力に迫る写真や動画を募集します。
- ◆募集部門 写真、動画、Instagramの3部門
  - ◆募集テーマ 冬、春、夏、秋、深(精神文化)、豊(食、温泉)、観(祭り、伝統芸能)、磨(ものづくり)、縁(暮らし)の9テーマ
  - ◆賞品 旅行券(3万円相当)や山形牛、雪若丸などの県産品。
  - ◆募集期限 令和2年1月20日(月)必着
  - ◆応募方法 郵送又はコンテストホームページからデータで応募。
- Instagramは、指定ハッシュタグを付け写真を投稿して応募。
- ☎ 広報広聴推進課 ☎023(630)2087



**お知らせ**

**日曜労働悩みごと相談会開催**

労働問題に詳しい労働委員会委員による相談会を実施します。(相談無料・秘密厳守)

日時・会場
10月6日(日) 午前10時～午後3時
●ゆめりあ(新庄市)
●アクティー米沢(米沢市)
10月20日(日) 午前10時～午後3時
●大手門パルズ(山形市)
●酒田勤労者福祉センター(酒田市)

※要電話予約。申込みは下記まで。  
 ☎ 労働委員会事務局 ☎023(630)2793

**山形おもてなし外国語講座 Vol.2**

海外から本県を訪れるお客様を、気持ち良くもてなすための、お役立ちフレーズを紹介するコーナー。  
 第2回目は**山形のおいしい味覚を楽しんでみませんか**。収穫と食欲の秋に向けて、本県の食の魅力をPRしていきましょう。

英語	Enjoy the delicious tastes of Yamagata エンジョイ ザ デリシャス テイスツ オブ ヤマガタ
韓国語	야마가타의 맛을 즐겨보세요 ヤマガタエ マスル ズルギョボセヨ
中国語	敬请品尝山形美食(简体字) 敬请品嚐山形美食(繁体字) ジンチン ピンツァン シャンシン メイシ

**～農家の皆様へ～  
「収入保険」にご加入ください**

「収入保険」は、品目にとらわれず、市場価格の低下なども含めた「収入減を補償する」新しい農業保険です。山形県農業共済組合では、令和2年産の補償に向けた加入申請を随時受け付けています。

- ◆対象 青色申告を行っている農業者
- ◆期限 継続加入者は11月末まで  
新規加入者は12月末まで
- ◆照会・申請先 山形県農業共済組合本所収入保険推進課 ☎023(665)4700
- ☎ 農政企画課 ☎023(630)2384

**秋の交通安全県民運動  
(9月21日～9月30日)**

日没が早まる秋は、夕暮れから夜間にかけて交通事故が多くなります。ドライバーは、ライトの早めの点灯とハイビームの積極的な活用を心がけ、歩行者は夜光反射材を身につけて、交通事故を防ぎましょう。

- ☎ 消費生活・地域安全課 ☎023(630)2460

**「知事と若者の地域創生ミーティング」**  
 吉村知事と車座になって、地域の課題や元気創出策などについて、意見交換してみませんか。

平成29年度から市町村単位で開催しており、これまで17市町を訪問しました。参加者からは、ミーティングをきっかけに、未来を担う役割を自覚するようになったという意見が多く寄せられています。開催日時や場所、参加者募集については、事前に開催市町村の広報紙などでお知らせしますので、お住まいの市町村で開催される際は、ぜひご参加ください。



**【お詫びと訂正】**

「県民のあゆみ」令和元年7月号の5ページについて、聖火リレーの開催日に誤りがありました。読者の皆様にお詫びするとともに、下記のとおり訂正いたします。  
 (誤) 来年6月6日(土)・7日(日) → (正) 来年6月7日(日)・8日(月)

**プレゼントクイズ**

ヒント  
6ページ

9月は山形県防災月間です。これを機に、普段の買い物が、いざという時の備蓄につながる〇〇〇〇〇〇ストックに挑戦してみませんか? 〇〇〇〇〇には何が入るでしょう。

正解者の中から抽選で右記賞品(指定はできません)をプレゼント!はがきに①クイズの答え②「県民のあゆみ」への感想など③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお送りください。Eメールでの応募の場合は、本文に①～③をご記入のうえ、タイトル「プレゼントクイズ」で、y-ayumi@pref.yamagata.jpに送信してください。

あて先:〒990-8570(住所は不要です)山形県広報広聴推進課「県民のあゆみ」9月号プレゼントクイズ係 締め切り:9月30日(月)(当日消印有効) ※応募いただいた個人情報、賞品発送と「県民のあゆみ」の記事作成にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。なお、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



- ①等 つや姫 及び 雪若丸(各2kg) 【5名様】 ※画像はイメージです。
- ②等 DADA cha white 【10名様】 酒田米菓(酒田市)



広告





# やまがた でん せつ 伝説 DENSETSU

せ かい さい だい やく まん しょく ぶん いも に  
**世界最大約3万食分の芋煮をつくる**  
きょ だい なべ さん だい め なべ た ろう  
**巨大鍋「三代目鍋太郎」は、**  
おお に ほん いち  
**その大きさも日本一!**



「日本一の芋煮フェスティバル」は、山形を代表する秋の味覚“芋煮”を全国にPRし、地域を元気にしようと、今から30年前の平成元年にスタートしました。初代鍋太郎は直径5.6m、当時は道路の幅が狭くて通れず、工場から陸送できませんでした。そこで、なんとヘリコプターで吊り上げて輸送することに。住宅の上を避け、須川、馬見ヶ崎川の河原沿いに運んだそうです。



製作には山形の職人の知恵と技術が生かされ、今は三代目なんだって!

平成4年に直径6mの二代目に交代し、平成30年から直径6.5mとさらに大きくなった三代目鍋太郎が活躍しています。製作には伝統工芸である山形鋳物の技術が生かされています。ほかにも、鍋ぶたは金山町の金山杉で作られています。芋煮の材料も県産にこだわるなど、日本一の芋煮会には、地場産業の力が結集しているのです。



初代鍋太郎の重さは約2.2t  
バランスを取りながらの  
空輸に苦労しました!!



みんなの力で  
完成した鍋太郎で、  
配食数のギネス  
世界記録を達成!

三代目鍋太郎は日本一の大きさを誇ります。インターネットを通して全国から寄付を募り、製作費を集めました。また、地域の子どもたちにも関わってもらうため、缶飲料のプルタブを回収して資金の一部に活用しています。素材には丈夫で軽いアルミ合金が使われていますが、それでも重さは3.5トンもあります。18ものパーツを溶接し、鍋底には10cm幅の補強材が敷かれています。

**KING OF IMONI**

鍋太郎について話をお聞きました  
**佐藤 卓弥 さん**  
山形商工会議所青年部  
「第31回日本一の芋煮フェスティバル」実行委員長

30年の歴史を受け継いで、山形をもっと元気にPRします!

「日本一の芋煮フェスティバル」は全国に誇るイベントです。今年は3万5000食を提供します!山形市制施行130周年の記念企画など盛りだくさんですので、三代目鍋太郎をぜひ見に来てください!



広告